

町長室から

北海道の山に初冠雪かと思えば、平野にも降雪のニュースが届くようになりました。

今年の冬の足早に近づいてきています。

今年は1年を通して新型コロナウィルス感染症対策に翻弄され続けることになり、北海道における感染者数は昨日ついに100人の大台を超えて119人となったことから、5段階の2から3へステージを引き上げてクラスターが発生している夜の街ススキノ地区周辺に夜遅い時間の酒類提供自粛の要請が出されました。

新型コロナウィルス感染症は乾燥し、窓を閉めて密閉空間が出来てしまう季節に広がりやすいと言われていますが、北海道と緯度が同じであるヨーロッパではまさにその状況に陥って感染者は日本の比ではなく増加しています。

ウィルスは自然に消滅するわけではなくて有効なワクチンが開発されるまでは、まさに新型コロナウィルスと共存する社会を容認するしかありませんので、新北海道スタイルを守りながら自己防衛をしつ

かりして暮らしのリズムを合わせてくださいよう。

アメリカ大統領選挙の開票が現在続いています。結果が出るのは簡単ではないようです。

世界の経済・政治共にリーダー国でもあるアメリカの今後の行方を全世界が固唾を飲んで見守っているとありますが、自由の国アメリカを象徴しているのでしょうか選挙戦自体が過熱し、何でもありで相手に罵詈雑言を浴びせ、政策論争さつちのけ、投票が終わり集計作業に入ると、集計を停止するように裁判所に訴えるという手段にも出てきたのには唖然としました。

投票の集計をやめるとするのは選挙人の投票行為を認めない事のように思えて意味が分かりません。

双方の陣営が過激化しすぎて、国が判断するのではないかと気がかりですが、選挙が終われば、ノーサイドで結果を受け入れるのがアメリカ国民であり、安定するといつ有識者の言葉を聞くと少し安心できるように思います。

この号が発刊される頃にはどうなっているのでしょうか。

先日、今年成人式を迎える人たちと歓談させていただきました。

皆さんが浦幌町に対して感じている事、思い描いている将来など卒直に話していただきましたが、最後に皆さんが口をそろえて言われていたのは、浦幌町が大都市になる事は望むべくもないが、逆に望んでもいない、現在の浦幌町の町民に対して感謝していること、浦幌町への愛着、この素晴らしい浦幌町をこれからも自然の形で残していってほしいということでした。

若い人たちの心の声を聴かされたように感じましたが、ただ人口減少への歯止めをお願いしますとも言われました。

まさに、若い人たちに引き継がれていく浦幌町であるためには人口減少社会へのチャレンジは最重要課題でもあると改めて感じたところです。

今、浦幌町では1丁の新規企業として立ち上がったフォレストデジタル株式会社デジタルで森林浴を体験できる新事業に取り組んでいます。常室ラボの一角にこの度「うらほろパーク浦幌」を完成させま

した。

上下・左右・前後を映像で立体的に森林環境を再現させ、十勝の森林や屋久島の天然杉の木々の香り、葉のざわめきも椅子に腰かけて体感できるという日本では初めてのデジタル空間を再現させた施設です。

12月10日（木）14時からメディア発表を行い正式オープンします。

今後は「うらほろパーク浦幌」を全国の病院や介護施設など多様な施設に広げていく予定となっています。

今年も残すところ1ヶ月少しとなりましたが、皆さん今年やり残したことはありませんか、来年まで残しておきたいこと、今年中に仕上げてしまいたいことを決める時が来いています。

素晴らしい来年を迎えるためにというにはまだ早すぎるでしょうか。

新型コロナウィルスを恐れず、しかし油断せずお喜しくください。

浦幌町長 水澤一廣